

**製品名:** カスパーゼ 6 p18 (16U11) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe07977

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:10-1:100
分子量	33kDa

## 抗原情報

遺伝子名	CASP6
別名	Apoptotic protease MCH2; CASP6; Caspase 6; Caspase 6 apoptosis related cysteine protease; Caspase-6 subunit p11; Caspase-6 subunit p20; Mch2
遺伝子 ID	839.0
SwissProt ID	P55212
免疫原	ヒトカスパーゼ 6 の合成ペプチド

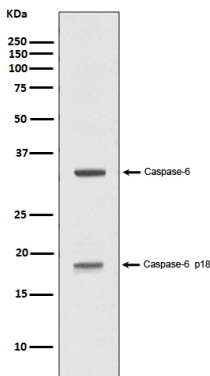
## 背景

カスパーゼ 6 は、細胞のアポトーシス過程において機能する主要な死刑執行カスパーゼの一つです。アポトーシス執行を担うカスパーゼの活性化カスケードに関与しています。in vitro において、ポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼおよびラミン A/LMNA を切断します。過剰発現はプログラム細胞死を促進します。プログラム細胞死、軸索変性、発達、および自然免疫において重要な役割を果たすシステインプロテアーゼです(PubMed:8663580, PubMed:32298652)。アポトーシスの過程では核内に局在し、核構造タンパク質 NUMA1 およびラミン A/LMNA を切断することで、核の収縮と断片化を引き起こします(PubMed:17401638, PubMed:8663580, PubMed:9463409)。さらに、NF- $\kappa$ B や cAMP 応答配列結合タンパク質/CREBBP など、多くの転写因子を切断します(PubMed:10559921, PubMed:14657026)。リン脂質スクランブラーゼタンパク質 XKR4 および XKR9 を切断します(類似性による)。軸索剪定(神経発生中の軸索のリモデリング)における軸索変性において重要な役割を果たしますが、アポトーシスには関与しません(類似性による)。初期発生中および抗原刺激後の両方で B 細胞プログラムを制御します(類似性による)。さらに、ZBP1 を介したピロプトーシス、アポトーシス、ネクロプトーシス(PANoptosis)などのプログラム細胞死経路の活性化を促進し、ウイルスに対する防御において重要な役割を果たします(PubMed:32298652)。機構的には、RIPK3 と相互作用し、RIPK3 と ZBP1 の相互作用を強化して、ZBP1 を介したインフラマソームの活性化と細胞死を引き起こします(PubMed:32298652)。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



1uM スタウロスポリン溶解物で処理した Jurkat 細胞における Caspase-6 p18 発現のウェスタンプロット分析。